



第16回AACA賞・第5回芦原義信賞 受賞者・選考委員

---

## CONTENTS

第18回 2006 aaca島根景観シンポジウム	2~3
いわみ元気フォーラム 「風土・文化・そして景観」	
第16回AACA賞・第5回芦原義信賞 発表	4
受賞作品・講評	5~10
応募作品一覧	11
トピックス	12

---

社 団 法 人  
日 本 建 築 美 術 工 芸 協 会





## いわみ元気フォーラム

—風土・文化・そして景観—

開催日 2006年10月27日 金曜日  
会場 島根県益田市  
島根県芸術文化センター  
主催 社団法人 日本建築美術工芸協会  
島根県  
益田市  
後援 文化庁  
NHK松江放送局  
山陰中央新報社  
中国新聞社  
社団法人 日本建築学会  
社団法人 日本建築家協会  
社団法人 日本建築士会連合会

### ■コーディネーター

小林治人 環境プロデューサー  
長野県松本市生  
東京農業大学造園学科卒

現在

英国ランドスケープ学会名誉会員  
東京ランドスケープ研究所代表取締役  
日本建築美術工芸協会専務理事



### ■パネラー

#### 栗山文昭 合唱団指揮者

島根県益田市生 島根県立益田高校卒 島根大学教育学部特設音楽科卒  
声楽・森山俊雄氏・合唱指揮・田中信明・高階正光氏に師事、二期会合唱団・東京混声合唱団で活躍。  
スペイントロサ国際合唱コンクール・イタリアグランプリ合唱コンクール両グランプリ受賞  
東京芸術大学講師 NHK東京児童合唱団音楽監督  
現在 いわみ芸術劇場いわみ合唱塾塾長



#### 澄川喜一 彫刻家・日本芸術院会員

島根県六日市町生 岩国工業高校卒東京芸術大学彫刻科・同専攻科終了 東京芸術大学元学長  
新制作展で活躍 「そののあるかたち」シリーズで第8回平櫛田中賞受賞  
島根県立美術館に高さ10mの「風門」を制作 1998年紫綬褒章受賞  
現在 島根県芸術文化センターセンター長 島根県立美術館館長  
日本建築美術工芸協会副会長



#### 高橋一清 松江観光プロデューサー

島根県益田市生 山口県立山口高校卒 早稲田大学第一文学部国文科卒  
傑文芸春秋入社 「文学界」「文芸春秋」「週刊文春」「オール読物」各編集部・出版部担当  
芥川賞・直木賞・菊池寛賞・松本清張賞等運営の進行にあたり 多数の新人作家を送り出した。  
現在 松江観光協会・観光文化プロデューサー



#### 内藤 廣 建築家

神奈川県生 早稲田大学理工学研究科建設工学専攻同修士課程終了  
フェルナンデス・イゲーラス建築設計事務所 菊竹清訓建築設計事務所を経て  
内藤廣建築設計事務所設立  
主な作品 海の博物館、安曇野ちひろ美術館 牧野富太郎記念館 島根県芸術文化センター  
現在 内藤廣建築設計事務所所長 東京大学大学院社会基盤学教授



パネルディスカッション 詳細は 2007-別冊1 をお読みください。



島根芸術文化センター（グラントア）



おろち



パネルディスカッション



津和野



石見街並み・銀山





**A A C A 賞**

- 『明治生命館』の保存・再生  
—明治生命館街区再開発—  
応募者 明治安田生命保険相互会社  
株式会社 竹中工務店設計部  
株式会社 三菱地所設計

**AACA賞 特別賞**

- 富山ライトレール・富山港線  
応募者 株式会社 GKデザイン  
株式会社 GKインダストリアルデザイン  
株式会社 デザイン総研広島  
島津環境グラフィックス有限会社

**AACA賞 奨励賞**

- 箱根ラリック美術館」  
応募者 鹿島建設株式会社
- コンラッド東京  
応募者 株式会社 竹中工務店 設計部  
インテリア部門 濱 弘美・硯 昭博  
株式会社 TAKリアルティ 村井久美
- 筑紫の丘斎場  
応募者 遠藤秀平／遠藤秀平建築研究所  
(石彫刻：内田和孝、陶彫刻：伊藤慶二)

**芦原義信賞**

- 星のや軽井沢  
応募者 東利恵／東環境・建築研究所  
長谷川宏巳／オンサイト計画設計事務所

**芦原義信賞 奨励賞**

- 虎ノ門琴平タワー  
応募者 株式会社 日建設計  
亀井忠夫・中村晃子
- GNOTI (ノティ)  
応募者 竹原義二／無有建築工房

選考委員会

選考委員長	仙田 満
選考委員	上山 良子
〃	小倉 善明
〃	可児 才介
〃	川村 純一
〃	澄川 喜一
〃	村井 修
ゲスト選考委員	伊藤 隆道
〃	中村 勉

審査経過と総評 選考委員長 仙田 満

2006年度の応募作品はAACCA賞が18点、芦原義信賞は15点であったが、そのうち6点が両方の賞に応募した。AACCA賞の応募作品は昨年と比較すると応募点数は多くはなかったが、質が高いものと感じられた。芦原義信賞は新人賞としての意味合いが強いのであるが、AACCA賞との差別化という点においてはまだ十分でないかもしれない。

第一次審査でAACCA賞では「星のや軽井沢」「箱根ラリック美術館」「GNOTI」「富山ライトレール」「コンラッド東京」「明治生命館の保存再生」「筑紫の丘斎場」の7点が、また芦原義信賞では「星のや軽井沢」「C-MA3」「虎ノ門琴平タワー」「GNOTI」の4点が残りの、各作品を2～3人の審査員で現地審査を行った。

その結果 AACCA賞には「明治生命館の保存再生—明治生命館街区再開発」が決定した。昭和9年に完成した建物で重要文化財に指定され「明治生命館」を保存してアトリウム・パッサージュという公共空間を設けて再生した手法が高く評価された。特別賞は「富山ライトレール」で、動くデザインストラクチャーによって古い都市と新しい都市を景観的に連携させたデザインが評価された。

芦原義信賞は美しい建築とランドスケープの調和が評価されたデザインが評価された。芦原義信賞は美しい建築とランドスケープの調和が評価された「星のや軽井沢」に決定された。

今回も応募された多くの方々のご努力に敬意を評したい。



## A A C A 賞

### ■『明治生命館』の保存・再生 —明治生命館街区再開発—

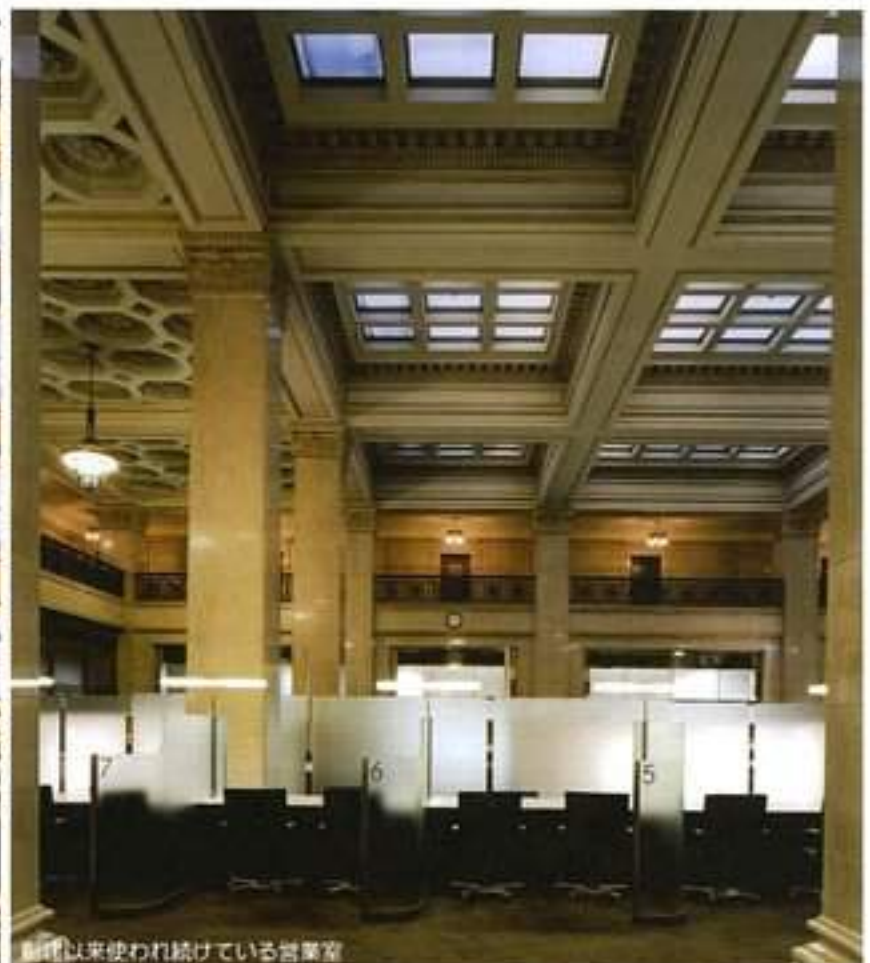
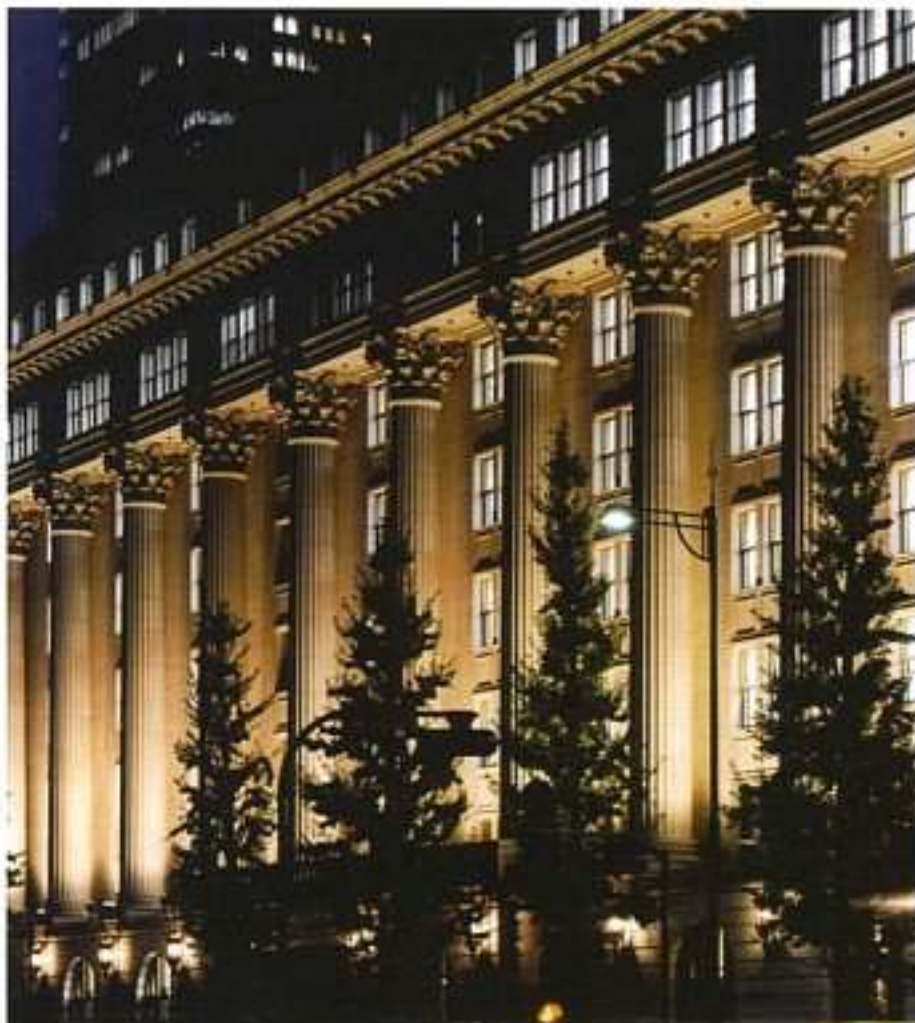
応募者 明治安田生命保険相互会社 株式会社 竹中工務店 株式会社 三菱地所設計

所在地 東京都千代田区丸の内2-1-1

「明治生命館」は、岡田信一郎の設計を弟捷五郎が引き継ぎ、内藤多仲の構造設計、竹中工務店の施工によって昭和9年竣工した。以前この地には旧社屋（三菱二号館）がありコンドルと設計にあたった曾禰達蔵の提案によって指名コンペ方式で岡田案が採用された経緯がある。基壇に並ぶ列柱や石彫、漆喰や大理石の内部空間など、全体がひとつの工芸品とも言える建築で、平成9年、昭和の建築物としては初めて国の重要文化財に指定された。

この歴史的建築を生かした街区再開発の適用により「明治安田生命ビル」が隣接して建設され、アトリウムやパサージュと呼ばれる公共空間を介して「明治生命館」自身も全面保存・再生がされた。この試みによって70年前の作品が圧倒的な存在感を持って蘇った。創建当時の空間を復元するだけでなく、構造や照明設備等の技術により、自然な光を主題とした空間特性を明快にする努力と工夫が随所に見られる。70年という時間とのコラボレーションがあって初めて魅力ある空間を創り出すことが出来たもので、今後の都市開発の手本となる。

選考委員 川村純一（建築家・アーキテクトファイブ代表）



創設以来使われ続けている営業室



勾配床の椅子席を復元した講堂



都市計画上の貫通通路にもなっているアトリウム



復元した明治生命館の石彫像

外壁彫刻部分の洗浄



## AACA賞 特別賞

### ■富山ライトレール・富山港線

応募者 株式会社 GKデザイン株式会社 GKインダストリアルデザイン  
株式会社 デザイン総研広島 島津環境グラフィックス有限会社  
所在地 富山県城川原3-3-45

富山駅北口の再開発は1980年代から始まった。現在では富岩運河の整備と新しいビジネス拠点として地方都市において、極めて美しい都市景観を形成された地区となっている。富山ライトレールは旧富山港線を再整備し、富山駅北口の再開発と連動した交通施設のデザインである。やさしくデザインされた車体デザイン、古い都市が新しく動くデザインによって新しい魅力をもつことができた。ちょっと電車に乗り、そして少し歩いてみて、また乗ってという、歩くことが楽しく、電車に乗ることが楽しい、そして町の新しいふれあいが楽しい。ライトレールによって古い町が新しい町にリフレッシュされた活性を見せている。都市景観の新しい展開として富山ライトレールはAACCA特別賞にふさわしいプロジェクトとして評価された。

選考委員長 仙田 満（環境建築家・環境デザイン研究所会長）





## AACA賞 奨励賞

### ■箱根ラリック美術館

応募者 鹿島建設株式会社

所在地 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原字上ノ山186-1

フランスのガラス工芸作家ルネ・ラリックの作品を、箱根の自然とあわせて楽しむ回遊型庭園美術館である。早川が大きく湾曲する千石原の市街地に敷地がある。街の喧騒とすぐそこに迫る外輪山の自然が並存するリゾート地 箱根らしい立地だ。きわめて素朴な形態の建築群がさりげなく街から内部を隔てる。作品は装身具、食器の類、さらにはインテリアと多岐にわたっている。人々が行きかえり憩う場は、庭園の豊かな緑や早川の緩やかな流れと一体となった屋根のある回廊であり庭に明るく開いたレストランである。背後に置かれた作品で飾られたオリエント急行の食堂車とあいまって多くのリピーターを作り出している。美しいガラス工芸の作品を核にして人々が集い、静かな庭園を散策し、レストランやショップなどでゆとりのひと時をすごせる、素朴でありながら豊かな空間がそこにある。

選考委員 可児才介（建築家・大成建設常務設計本部長）



### ■コンラッド東京

応募者 株式会社 竹中工務店 設計部 インテリア部門 濱 弘美・硯 昭博  
株式会社 TAKリアルティ 村井久美

所在地 東京都港区新橋1-9-1

コンラッド東京は汐留地区にある東京汐留ビルディングの28階から37階にある高級ホテルである。質の高い空間の構成を美術作品が担っている。設置されている作品はこのホテルのコンセプトである「センス・オブ・プレイス」と「ワールドクラスのモダンラグジュアリー」をテーマに据えての構成で仕上がっている。さすがに上質な空間はこの地域の中心的な施設として役割をはたしている。緊張感のある研ぎすまされた一般的に接客空間であるホテルの空間はどちらかといえば日常の生活から離れた芸術作品の選択がそのホテルのコンセプトを如実に表れる事が多い。コンラッドホテルでは邦人作家による作品を意識的に展開している。地域に根ざすことを重要視したホテル作りにとって日本人作家を中心に据えたことはそのまま『ワールドモダン』にもつながったとも言える。

ゲスト選考委員 伊藤隆道（彫刻家）





■筑紫の丘斎場

応募者 遠藤秀平／遠藤秀平建築研究所（石彫刻：内田和孝、陶彫刻：伊藤慶二）  
所在地 兵庫県揖保郡太子町佐用岡732

「空間そのものがモニュメンタルである」という感覚を極めて高い次元で感じさせる建築の内部空間に久々に出会った。斎場という「生」と「死」の共存を儀式として象徴化し、各々の持つ死者との別れを昇華するために、作者は空間の質に徹底してこだわっている。三つの異なる空間へと来訪者は導かれる。結界となる緩やかな弧を描いた、自然石の持ち味を生かした外壁の間から、まず高い天井を持つ、暗黙の黒のしつらえの空間へと導かれる。そのうち「天からの光」に気付かされる、「会葬」の場。次に扉の向こうに真っ白な大理石の空間が鏡面の水面と共に現れる。「火葬」という儀式にふさわしい、リチュアルな空間。人間の存在を超えたものに対する畏敬の念を見事に表現している。対照的に明るく自然光を取り入れた、待合いの「この世の空間」。新たな素材、工法にたいする創造的な試みも高い評価を得た。

庭や、建物全体の周辺との関係性の高次元化を期待する。 選考委員 上山良子（ランドスケープアーキテクト）



送別ホール



送別ホール出口より廊下を見る



## 芦原義信賞

### ■星のや軽井沢

応募者 東利恵/東環境・建築研究所 長谷川宏巳/オンサイト計画設計事務所

所在地 長野県北佐久郡軽井沢町星野

星のや軽井沢は「集落」をテーマに、自然林に囲まれた谷間の水面を生かして創られた分散型の宿泊施設である。客室を分散型とするリゾートホテルは世界に多くあるが、星のや軽井沢は、たくみに日本的な表現をとっている。これは、ひとつには、風楼のある切妻屋根の客室群全体から受ける印象によるものであるが、何といても、谷間に存在する水と古い樹木、地形がたくみに生かされたランドスケープによるところが大きい。敷地の高低差を生かして配置された客室群へのアプローチは、散策路として使うことが強く意識され、歩くにつれて視野に入る変化に富む眺めには、星野温泉100年の歴史を生かした設計者の腕前が感じとられる。分棟配置された客室、スパ、レストランの各棟は、それぞれ特徴のあるインテリアと眺望を持っているのが良い。この施設計画に対する発想や、水の流れを使った水力発電など自然エネルギーによる自給率が75%となるエネルギー計画の実現など、企画の良さにも敬服する。

クライアント、建築家、ランドスケープアーキテクトのコラボレーションによって生れたこの秀れたリゾート施設は芦原義信賞を受賞するのにふさわしい。

選考委員 小倉善明（建築家）



山路地の部屋 外観



葎路地の部屋 リビングから庭を見る



集いの館 内観



山路地の部屋 リビングからベトナムを見る



集いの館 お茶の間ラウンジ(レストラン)



## 芦原義信賞 奨励賞

### ■虎ノ門琴平タワー

応募者 応募者 株式会社日建設計 亀井忠夫・中村晃子  
所在地 港区虎ノ門128

現代、都市開発が進む状況のなかで、日本の風土に生きつづけた庶民信仰との共存を、建築手法としてこれほど大胆に試みた例は少ないのではないかと思う。

桜田通りからみるオフィス正面入口と鳥居を並列に設けるといふ、現代建築では否定されかねないファサードだが、一歩足を踏み入れこの計画の主眼を読めば、歴史遺産「金刀比羅宮」に対する畏敬の空間が広がる。

新しく出来た神楽殿、鎮守の森の植栽、黒御影の水盤から溢れるせせらぎなど、都市のなかにあってふるさとの景観の記憶をとどめ、この広場を訪れる人への憩いの場となり、また新しい祝祭空間を創出している。

新オフィス棟の設計では、公開空地を四本の柱で生まれるピロティ下まで広げて参詣道とし、ガラス越しに見るロビーの黒い壁面にしつらわれたテキスタイルの赤の帯など協調する姿勢も好ましく、夜景に一層の華やかさが加わる。芦原賞の主旨に沿う賞として新しい問題を提示した作品と思う。 選考委員 村井 修（写真家）

桜田通りより見る。街路に面して鳥居が立ち、敷地奥の社殿と木々が見える



ピロティ夜景



高さ3.5mのガラスボックスとして構成されたロビー

### ■GNOTI（ノティ）

応募者 竹原義二／無有建築工房  
所在地 大阪府吹田市芳野町13-8

GNOTIのおかれている公園は公共緑地ではなく、豊田織機の紡績工場の跡地をトヨタがスポーツ・文化複合施設として一般に開放している公園である。

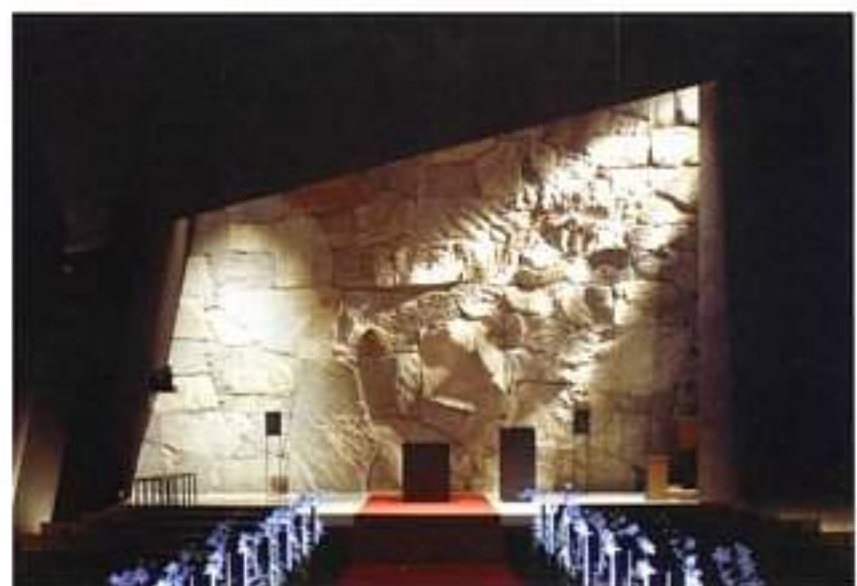
その中の美術館に隣接した野球場の敷地を利用して結婚・パーティ会場としてこの施設は整備された。

GNOTIはチャペル形式の結婚式場として中心に配置されている。GNOTIは黒く低く抑えられたデザインで、その単純なマッサが彫刻的な建築で強く表現され、周辺の白いともすれば商業主義となりかねない建築群を引き締めてぎりぎりのところで救っている。

特に秀逸なのは 2/10という角度の使い方である。平面の中で、また断面・立面において、垂直な南側の壁に対して2寸勾配のの屋根、北壁が彫刻的表情を与え、室内では両側の壁が折れ曲がり、隙間から光が差し込んでいる。

光の演出と同時に、最小の手法で奥深い形態を作り出した設計者の技量に敬服する。惜しむらくは背後のゴルフ練習場や高層マンションに対する配慮、そして中央の日時計とそれを囲む配置はこの建物のスケールを小さくし、雑然とした印象を与え、残念である。

ゲスト審査委員 中村 勉（建築家  
・中村総合計画事務所所長）





第16回AACCA賞応募作品



NO	作 品	作 者 名
1	星のや軽井沢	東利恵/東環境・建築研究所 長谷川浩己/オンサイト計画設計事務所
2	追手門学院大学 守衛所	須部恭浩
3	こもれびの降る丘 遊楽館	株式会社 久米設計
4	箱根ラリック美術館	鹿島建設株式会社
5	ルーテル学院大学新校舎(トリニティホール)	有限会社 連健夫建築研究室
6	C-MA3	松葉力+田島則行+テレデザイン
7	銀座久兵衛 別館	羽深隆雄・梅工房設計事務所
8	慶応義塾大学南館(三田)	大成建設株式会社 設計本部 II群建築グループ 芝山哲也 伊藤真樹
9	都市空間における人とのインターフェイスを創出する —成田国際空港オブジェほか—連の作品—	坂上直哉
10	いわて県民情報交流センター(アイーナ)	日本設計・曾根幸一・環境設計研究所・久慈設計
11	風笛の舎(カザブエノヤ)	山本恭弘(聖建築研究所)
12	I-HOUSE	窪田勝文
13	GNOTI(ノティ)	竹原義二/無有建築工房
14	富山ライトレール・富山港線	株式会社GK設計、株式会社GKインダストリアルデザイン、 株式会社デザイン総研広島、島津環境グラフィックス株式会社
15	コンラッド東京	株式会社 竹中工務店 設計部 インテリア部門 濱 弘美、碩 昭博、 株式会社 TAKリアルティ 村井久美
16	『明治生命館』の保存・再生—明治生命館街区再開発	明治安田生命保険相互会社、 株式会社 竹中工務店設計部、株式会社 三菱地所設計
17	そごう心齋橋 本店 吹き抜け 共用空間	堀木エリ子&アソシエイツ・竹中工務店
18	筑紫の丘斎場	遠藤秀平/遠藤秀平建築研究所、 (石彫刻:内田和孝、陶彫刻:伊藤慶二)

第5回芦原義信賞応募作品

NO	作 品	作 者 名
1	星のや軽井沢	前掲
2	キムカツ恵比寿本店	小川博央/小川博央建築都市設計事務所
3	南相木ダム ウズマクヒロバ	小宮 功(建築家)+笹口 数(現代美術作家) +古内時子(ランドスケープアーキテクト)
4	こもれびの降る丘 遊楽館	前掲
5	ルーテル学院大学新校舎(トリニティホール)	前掲
6	C-MA3	前掲
7	虎ノ門琴平タワー	株式会社 日建設計 亀井忠夫・中村晃子
8	所沢STOMACH	寺田尚樹+TERADADESIGN ARCHITECTS 担当 寺田尚樹 平手健一
9	吉川グループ小川島研修センター	株式会社 竹中工務店 設計部 川建 康
10	I-HOUSE	前掲
11	GNOTI(ノティ)	前掲
12	明治安田生命盛岡支社遠野営業所	竹中工務店 設計部 桑原裕彰、福永和久、花岡郁哉
13	滋賀銀行 京都南支店	森田昌宏
14	岡山県真庭市立美甘小学校	武村耕輔
15	DVD ストーリー原爆BOX	長尾孝明、小山哲生、小山チカ 他



## 新入会員 (2006年7月~2007年2月 入会順・敬称略)

### 正会員

長谷川浩己 〒105-0014	港区芝3-43-5三田加藤ビル2F	Tel.03-5444-3166	オンサイト計画設計事務所
今里 隆 〒100-0014	千代田区永田町2-14-2山王ランドビル6F	Tel.03-3580-3021	杉山隆建築設計事務所
小山 隆治 〒542-0081	大阪市中央区南船場2-2-28順慶ビル6F	Tel.06-6262-7067	小山隆治建築研究所
村上 慶子 〒270-1142	我孫子市泉19-14	Tel.04-7185-0055	皮革工芸
東 利恵 〒150-0001	渋谷区神宮前3-42-13鈴木ビル2F	Tel.03-3403-5593	東 環境・建築研究所
山本 恭弘 〒782-0031	香美市土佐山田町東本町5-2-11	Tel.088-752-5104	聖 建築研究所
寺田 尚樹 〒108-0073	港区三田2-12-5オープンスタジオNOPE	Tel.03-3769-0343	(有)テラデザイン一級建築士(事)
武村 耕輔 〒700-0935	岡山市神田町1-7-31	Tel.086-234-2678	(株)ハナック総合設計
竹原 義二 〒540-0004	大阪市中央区玉造2-2-1	Tel.06-6949-1002	無有建築工房
井上 剛 〒154-0017	世田谷区世田谷2-19-9	Tel.03-3425-8885	ガラス
窪田 勝文 〒740-0017	岩国市1-8-24	Tel.082-722-0092	窪田建築アトリエ
小宮 功 〒150-0044	渋谷区円山町22-14塙ビル2F	Tel.03-3463-6782	小宮功建築設計事務所
小川 博央 〒168-0064	杉並区永福2-57-8-201	Tel.03-3324-3071	小川博央建築都市設計事務所
田島 則行 〒108-0073	港区三田2-12-5オープンスタジオNOPE	Tel.03-3769-0833	(株)テレデザイン
遠藤 秀平 〒530-0053	大阪市北区末広町3-21新星和扇町ビル6F	Tel.06-6312-7455	遠藤秀平建築研究所
茶之木宏次 〒550-0015	大阪市西区南堀江1-26-27-509	Tel.06-6538-7515	アークスタジオ一級建築士(事)
大河内久子 〒640-8404	和歌山市湊4-7-6	Tel.073-480-1952	大河内久子アトリエ
渡邊たまえ 〒203-0041	東久留米市野火止3-13-7	Tel.0424-73-5765	彫刻
松木 保恵 〒533-0014	大阪市東淀川区豊新1-17-6ハイツ旭2-301	Tel.09039940525	(有)アールズワイヤード
古川 潤 〒321-4212	栃木県芳賀郡益子町上大羽2454	Tel.0285-72-5361	彫刻

### 法人会員

不二窯業(株)	取締役社長 金子謙治	窓口 新規事業・設計部 森田高年
〒104-0041	中央区新富2-14-5	Tel.03-3551-7255

訂正 会報48号でご紹介した正会員の中で誤りがありましたので訂正いたします。ご関係の皆様にお詫び申し上げます。

(正) 加藤 俊夫 〒662-0012	西宮市甲陽園東山町11-4	Tel.0798-73-4568	Ceramic Art Segercone
(誤)	西宮市向陽園東山町11-4		



卯月展

都市空間を意識し 様々な素材・表現手段で 今 を創造する

aaca会員の女性作家による試み

伊藤琴恵 立体造形	鮫島貴子 立体造形	文月恵津子 銅版画
片岡雅子 七宝	中村弘子 ステンドグラス	山崎輝子 皮革造形
佐藤静子 布・染・織	野口真理 陶	渡邊たまえ 彫刻

2007年4月23日(月)~29日(日) 11:00~19:00(最終日15:00) 港区芝5-26-20 建築会館 展示室・イベント広場

### 会員投稿記事 募集中

#### 会員の皆様の

作品紹介、活動報告、展覧会  
個展等のご案内、企業の広告  
出品展等のご案内を 会報に  
掲載いたします。詳しくは  
事務局にご相談ください。

#### 会報について

会報へのご意見 ご希望を  
お寄せください。(広報委員会)

### 発行

社団法人 日本建築美術工芸協会

〒108-0014  
東京都港区芝5-26-20 建築会館6階  
Tel 03-3457-7998  
Fax 03-3457-1598  
Url <http://www.aacajp.com>  
E-mail [info@aacajp.com](mailto:info@aacajp.com)

### 編集

#### 広報委員会

石田 真人 北村 孝昭 瀬川 秀之  
竹生田 正 中村 弘子 長谷川 亨  
本田 宣之 山崎 輝子

#### 事務局

伊藤 留雄



### 制作協力

美和野印刷株式会社